

1月25日正午必着

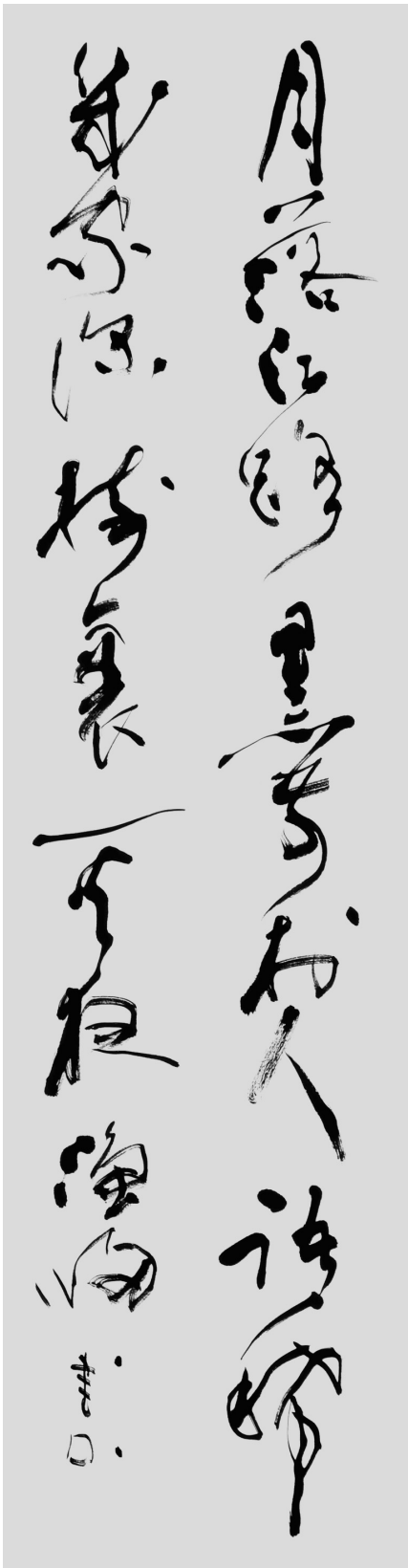
明石春浦先生書



一花開天下春 (虚堂録)

一花は梅花。梅が咲きそめて、どこもかしこも春となった。

明石幸子書



月落江路黑 几家深樹裏

前村人語稀 一夜漁歸

(項斯)

漁村の夜の光景で、もはや家々は戸をとざしているが、一軒だけ燈火の見えるのは、今漁から歸ったのであろう。

1月25日正午必着



叶 采園先生書

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

毎乗月色連宵出 特為梅花破曉行 (葉 適) 毎夜、美しい月光にひかれて観月に出かけ、時には朝早く梅を見に出かける。

東風扇淑氣(韓 愈)

東風淑氣を扇ぐ

よき春の景色である。

萬樹江邊杏 新開一夜風 (王 維)

萬樹江邊の杏 新たに一夜の風に開く
満園深淺の色 照らして緑波のうちに在り

水郷江邊の春景色。曲とは譜をつけてうたう歌曲の意。

柏梯寺懷舊僧(司空図)

柏梯寺にして旧僧を懐う 司空図

雲根禪客居 皆說舊吾廬

雲根 禅客の居 皆な説く 旧と吾が廬

松日明金像 苔龕響木魚

松日 金像明らかに 苔龕 木魚響く

依棲應不阻 名利本來疎

依棲 應に阻まざるべし 名利 本来疎なり

縦有二人相問 林閒懶拆書

縦い人の相問う有りと 林閒 書を拆くに懶し

わが窓の晴もくもりもあめかぜもまた一年のはじめなりけり (清水比庵)

半紙部規定課題A

1月25日正午必着

坐 到 酒
樓 前

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

1月25日正午必着

行書

坐 到 酒
樓 前

隸書

坐 到 酒
樓 前

明石春浦先生書

草書

坐 到 酒
樓 前

行草書

坐 到 酒
樓 前

夜になって、楚の家々の盛に煙たちのぼる地域にはいった。煙の中に、人々はまだ眠らずにいる。淮水の岸辺の眺望を極めつくし、舟中に坐したまま酒樓の前についた。灯火の影は半ば水を照らし、あたりの船の中からしきりに箏のしらべがきこえる。流れに乗って東をさして行こうとするが、この地を離れて行けば、たちまちに年月が過ぎることであろう。

夜泊淮陰 項斯

夜入楚家煙
煙中人未眠
望來淮岸盡
坐到酒樓前
燈影半臨水
箏聲多在船
乘流向東去
別此易經年

夜 淮陰に泊す 項斯

夜 楚家の煙に入る
煙中 人 未だ眠らず
望み來つて 淮岸尽き
坐して到る 酒樓の前
燈影 半ば水に臨み
箏聲 多く船に在り
流れに乗じて東に向かつて
去る

朝日新聞社刊
「三体詩」下より

靡恃已長 信使可覆 器欲難量 墨悲糸染 詩讚羔羊 景行維賢 克念作聖 德建
 景行維賢 克念作聖 德建 景行維賢 克念作聖 德建 景行維賢 克念作聖 德建
 景行維賢 克念作聖 德建 景行維賢 克念作聖 德建 景行維賢 克念作聖 德建

靡恃已長、信使可覆、器欲難量、墨悲糸染、詩讚羔羊、景行維賢、克念作聖、德建
己が長を持つ靡かれ。信は覆むべから使め、器は量り難からんことを欲す。墨は糸の染るを
 悲しみ、詩には羔羊を讃せり。景行あるは維れ賢なり、克く念えば聖と作る。徳建てば

1月25日正午必着



詩には羔羊を讃せり。



墨は糸の染るを悲しみ、詩には羔羊を讃せり。

隋 智永・真草千字文

智永は生没年は不詳であるが、梁の時代の五三〇年頃の生まれで、隋の時代まで生存していたであろうと言われている。彼は王家の家系で、書聖・王羲之の七代目の子孫にあたり、王家の書の伝承者として隋・唐の時代から高く評価されていたらしい。千字文はもともと梁の武帝が八人の王子の書の学習の為に、殷鉄石に命じて王羲之の文字を重複しないように千種類写し取らせ、更に周興嗣に命じて、韻を踏んだ四言二五〇句の文章を作らせたものである。

智永は、出家人道して学書に専念し、毎日寺の二階にこもって、真草千字文八百本を臨書し、諸寺に施入したと伝えられている。真草千字文は草書を憶える便を考え、楷書と草書が並べて書かれているものである。

ここにあげた千字文は、幕末明治の頃に日本に伝わった真蹟本であると言われている。真書つまり楷書は文字の大小があまりなく、きちんと並べて書かれているので一見平凡に見えるが、細かく観察してみると肥瘦強弱のある点画を配し、豊かな変化があり、行書的に書かれているところもある。草書は楷書よりやや大きめで、肉太に書かれている。一字一字みな筆法が異なっており、一字中の各部分の大きさや態勢を呼应させ、空間の配置に変化があり、王法の伝統を伝えようとする姿勢をうかがわせる書と言えよう。

1月25日正午必着

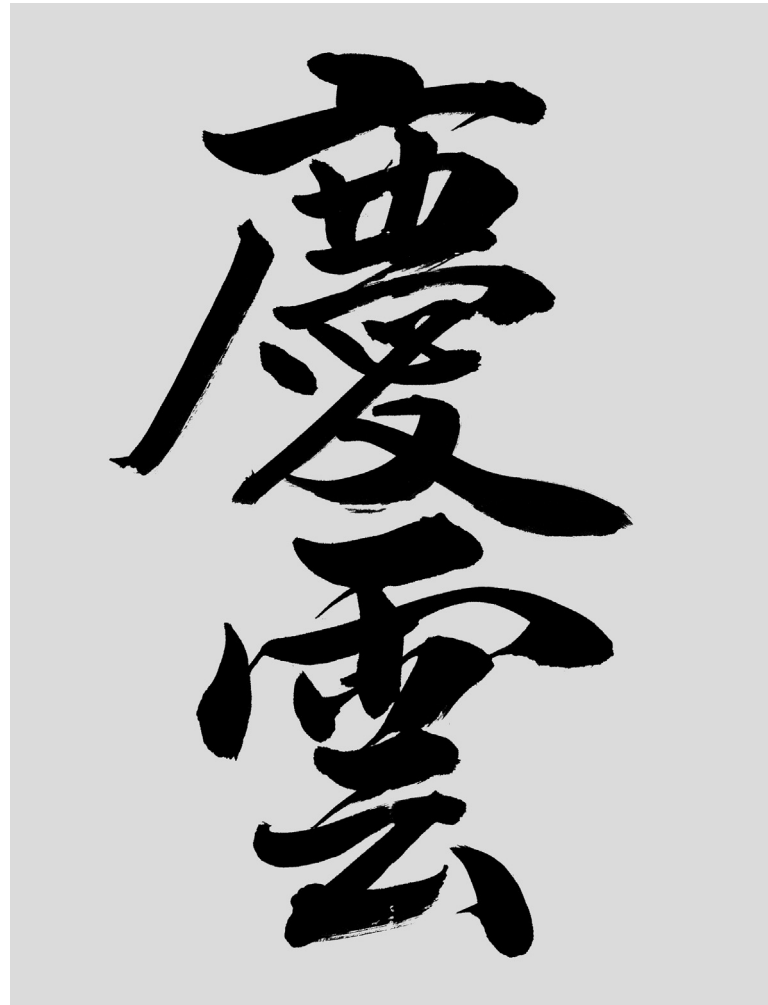
教育部毛筆



さん が
参 賀

中学一年

雨宮春聲先生書



けい うん
慶 雲

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



はこ
箱

ね
根

小学五年

榎戸春龍先生書



しん
新

しゅん
春

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

1月25日正午必着



わ

こう

小学三年

藤田幸春先生書



はつ

ゆき

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

え び 小学一年・幼年



森戸春濤書

はやい 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

びて明けゆく天地	希ぼうの初日をあ
----------	----------

小学五年

けることが大切です	日記は毎日書きつづ
-----------	-----------

小学六年

怒りに心を動かされる	人間はよろこび悲しみ
------------	------------

中学

だき 恐縮に存じます	早々にお年賀状をいた
------------	------------

一般(級位)

<small>ひともしもひとあはれしあぢきなく世を思ふゆゑにもの思ふ身は(後鳥羽院)</small> 春の海はゆるぎないもの思ふ身は	子母情〜人あはれ〜あぢきなく
---	----------------

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
 また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

を	お
	せ
た	ち
べ	り
ま	よ
し	う
た	り

幼年

に	あ
の	さ
ぼ	ひ
り	か
ま	ゆ
し	き
た	山

小学一年

を	雪
た	の
べ	中
る	で
あ	さ
ひ	か
る	な

小学二年

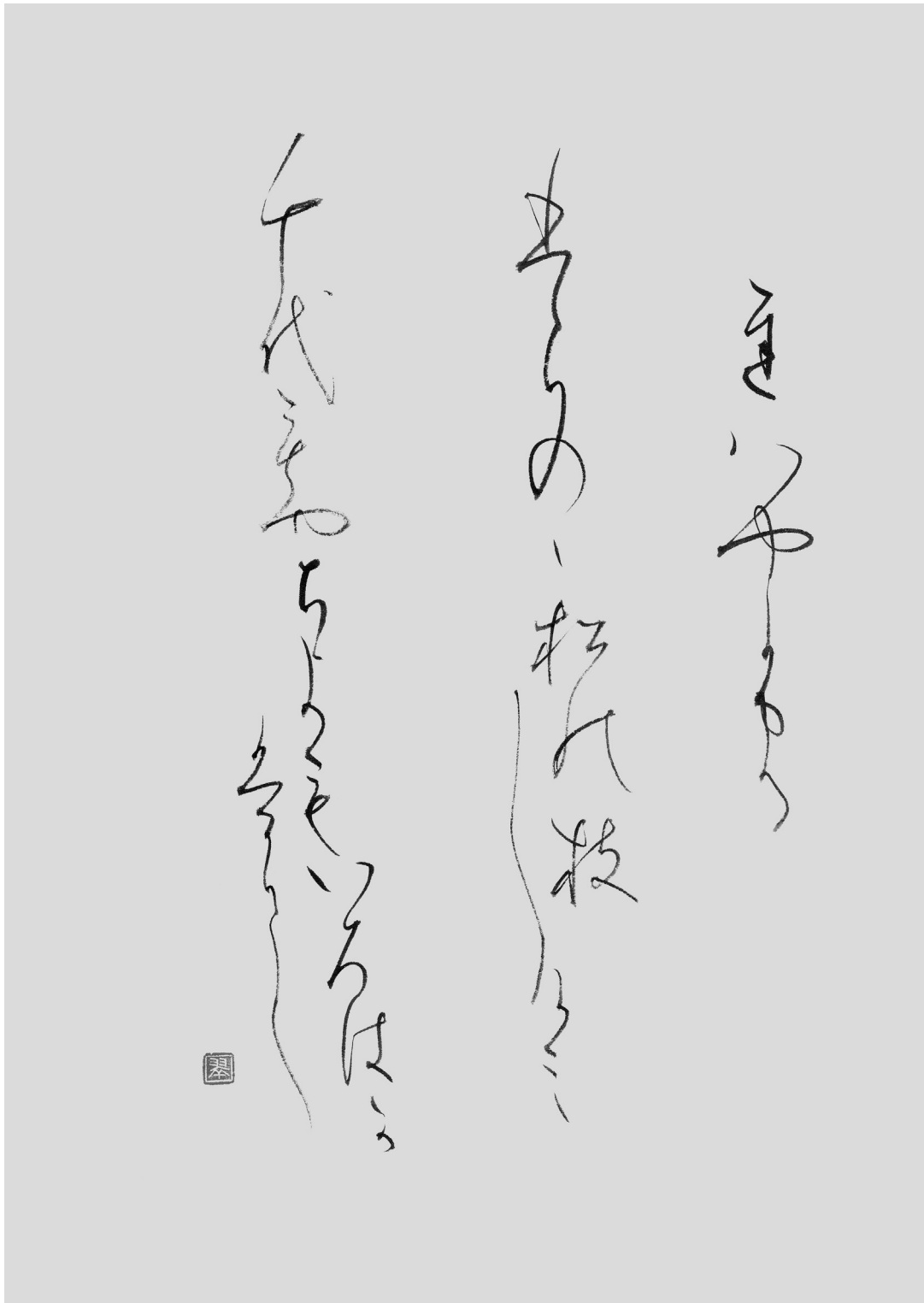
つ	火
け	の
ま	元
し	に
よ	
う	気
	を

小学三年

上	光
を	り
初	か
日	が
が	や
の	く
ぼ	海
る	の

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



ちはやぶる
 遅八布
 悲ひらの、松の
 能枝しげみ
 介三
 千代もやちよも
 毛
 いろはかはらじ
 可

(おおなかとみゆのしのぶ
 大中臣能宣)

松永翠舟先生書